【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年12月27日(2024.12.27)

【国際公開番号】WO2023/199957
【出願番号】特願2024-514990(P2024-514990)
【国際特許分類】
Ｇ１６Ｈ 10/00(2018.01)
Ｇ１６Ｈ 15/00(2018.01)
Ｇ１６Ｈ 30/00(2018.01)
Ａ６１Ｂ 6/03(2006.01)
Ａ６１Ｂ 6/46(2024.01)
【ＦＩ】
Ｇ１６Ｈ 10/00
Ｇ１６Ｈ 15/00
Ｇ１６Ｈ 30/00
Ａ６１Ｂ 6/03 ５６０Ｄ
Ａ６１Ｂ 6/46 ５３６Ｐ
Ａ６１Ｂ 6/46 ５３６Ｑ
Ａ６１Ｂ 6/03 ５６０Ｔ

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つのプロセッサを備え、
前記プロセッサは、
第１時点において被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第１画像に関する記述を含む文字列を取得し、
前記文字列に記述がある第１関心領域を特定し、
前記第１画像のうち、前記第１関心領域が含まれる第１注目画像を特定し、
第２時点において前記被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第２画像のうち、前記第１注目画像に対応する第２注目画像を特定し、
前記第１注目画像と前記第２注目画像とを対応付けてディスプレイに表示させる
情報処理装置。
【請求項２】
前記プロセッサは、
前記第１注目画像と同一の位置を撮影して得られた前記第２画像を、前記第２注目画像として特定する
請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記プロセッサは、
前記文字列のうち、前記第１関心領域の特定に用いる一部の選択を受け付ける
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】

前記プロセッサは、
前記文字列に記述がある前記第１関心領域を複数特定した場合、複数の前記第１関心領域のそれぞれについて、前記第１注目画像及び前記第２注目画像を特定する
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記プロセッサは、
複数の前記第１関心領域のそれぞれについて特定された前記第１注目画像と前記第２注目画像とを、順繰りに前記ディスプレイに表示させる
請求項４に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記プロセッサは、
複数の前記第１関心領域のそれぞれについて予め定められた優先度に応じた順で、前記第１注目画像と前記第２注目画像とを順繰りに前記ディスプレイに表示させる
請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記プロセッサは、
前記第２注目画像と対応付けて、当該第２注目画像に関する記述を含む文字列を受け付けるための入力欄を前記ディスプレイに表示させ、
前記入力欄において当該第２注目画像に関する記述を含む文字列を受け付けた後、次の前記第１注目画像及び前記第２注目画像を前記ディスプレイに表示させる
請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項８】
前記プロセッサは、
複数の前記第１関心領域のそれぞれについて特定された前記第１注目画像と前記第２注目画像とを、一覧として前記ディスプレイに表示させる
請求項４に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記プロセッサは、
前記第２注目画像における前記第１関心領域に対応する領域について、ユーザに確認させるための通知をする
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記プロセッサは、
前記通知として、前記第１関心領域を示す文字列、並びに、記号及び図形のうち少なくとも１つをディスプレイに表示させる
請求項９に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記プロセッサは、
前記第１注目画像における前記第１関心領域と、前記第２注目画像における前記第１関心領域に対応する領域と、を比較した結果を示す比較情報を生成し、
前記比較情報をディスプレイに表示させる
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
前記プロセッサは、
前記第２注目画像における前記第１関心領域に対応する領域を強調表示する
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
前記プロセッサは、
前記第１注目画像と対応付けて、少なくとも前記第１関心領域に関する記述を含む文字列を前記ディスプレイに表示させる

請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１４】
前記プロセッサは、
前記第２注目画像と対応付けて、当該第２注目画像に関する記述を含む文字列を受け付けるための入力欄を前記ディスプレイに表示させる
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１５】
前記プロセッサは、
前記第１注目画像と前記第２注目画像とで同一の表示設定にして前記ディスプレイに表示させる
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１６】
前記表示設定は、前記第１注目画像及び前記第２注目画像の解像度、階調、明るさ、コントラスト、ウィンドウレベル、ウィンドウ幅及び色のうち少なくとも１つに関する設定である
請求項１５に記載の情報処理装置。
【請求項１７】
前記プロセッサは、
前記第２注目画像に前記第１関心領域に対応する領域が含まれない場合、前記第２注目画像に前記第１関心領域に対応する領域が含まれない旨を示す通知をする
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１８】
前記第１画像及び前記第２画像は、医用画像であり、
前記第１関心領域は、前記医用画像に含まれる構造物の領域、及び前記医用画像に含まれる異常陰影の領域の少なくとも一方である
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項１９】
第１時点において被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第１画像に関する記述を含む文字列を取得し、
前記文字列に記述がある第１関心領域を特定し、
前記第１画像のうち、前記第１関心領域が含まれる第１注目画像を特定し、
第２時点において前記被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第２画像のうち、前記第１注目画像に対応する第２注目画像を特定し、
前記第１注目画像と前記第２注目画像とを対応付けてディスプレイに表示させる
処理をコンピュータが実行する情報処理方法。
【請求項２０】
第１時点において被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第１画像に関する記述を含む文字列を取得し、
前記文字列に記述がある第１関心領域を特定し、
前記第１画像のうち、前記第１関心領域が含まれる第１注目画像を特定し、
第２時点において前記被検体を撮影して得られた少なくとも１つの第２画像のうち、前記第１注目画像に対応する第２注目画像を特定し、
前記第１注目画像と前記第２注目画像とを対応付けてディスプレイに表示させる
処理をコンピュータに実行させるための情報処理プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】

本開示の第４態様は、上記第１態様から第３態様の何れか１つにおいて、プロセッサは、文字列に記述がある第１関心領域を複数特定した場合、複数の第１関心領域のそれぞれについて、第１注目画像及び第２注目画像を特定してもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８１】
ステップＳ２０で、制御部３６は、ステップＳ１６で特定された第１注目画像と、ステップＳ１８で特定された第２注目画像と、を対応付けてディスプレイ２４に表示させる制御を行い、本情報処理を終了する。